



2024 年度 環境経営レポート

活動期間 2024 年 1 月～12 月



作成 2025 年 2 月 10 日

承認	作成
	

愛知県大府市追分町 1 丁目 19 番地

有限会社 今井工業所

目次

1.環境経営方針	P3
2.組織の概要	P4
3.対象範囲	P5
4.環境経営目標	P6
5.環境活動計画	P8
6.環境経営目標の実績	P9
7.環境活動計画の取組結果と その評価次年度の目標と取組内容	P10
8.環境関連法規等の遵守状況の確認 評価結果と違反、訴訟等の有無	P13
9.代表者による全体評価と見直し結果	P14

環境経営方針

<基本理念>

弊社は自動車部品の製造を通じて一人ひとりが環境と経営の健全な維持向上活動を推進していく為

『～変わろう！変えよう！ひとりひとりの意識から～』

をスローガンとして、社員一丸となって環境保全に取り組みます。

環境活動方針

① 二酸化炭素排出量の削減

- ・電気使用量の削減
- ・燃料使用量の削減
- ・LP ガス使用量の削減
- ・廃棄物排出量の削減
- ・節水による水使用量の削減

② 環境関連法規制等の遵守活動

③ 化学物質の削減方向に向けた維持管理

④ 地域社会への貢献とコミュニケーション構築

⑤ 本業に関わる環境活動の実施

- ・顧客信頼度向上に向けた不良発生原因の追究と対策
- ・自動車を取り巻く環境変化の情報収集及び新たなビジネスの展望

⑥ 環境経営方針を全従業員に周知徹底

令和元年 6 月 5 日
有限会社 今井工業所
トップマネジメント

今井 博



□組織の概要

(1) 名所及び代表者名

有限会社 今井工業所
代表取締役社長 今井 博

(2) 所在地

本社工場 愛知県大府市追分町1丁目19番地
金属工場 " 1丁目40番地
本社第二工場 " 1丁目38番地
倉庫 " 2丁目296番地の1

(3) 環境管理責任者の氏名

環境管理責任者 今井 博
連絡先：本社 0562-48-2975
FAX 0562-48-2987
E-mail imaikougixyousixyo@h8.dion.ne.jp

(4) 事業活動の内容

自動車外装部品の加工業
(自動車外装部品のバリ取り、加工・バフ研磨、ペーパー掛け等)

(5) 事業規模

法人設立年月日 昭和38年1月29日
資本金 2000万円
従業員 15人(令和7年2月1日)
敷地面積 1167.34㎡(床面積863.57㎡)

	本社工場	金属工場	本社第二工場	倉庫
従業員	5名	10名	無人	無人
敷地面積	272.12 ㎡	488.00 ㎡	266.14 ㎡	141.08 ㎡
床面積	239.67 ㎡	372.18 ㎡	178.82 ㎡	72.90 ㎡

□対象範囲（認証・登録範囲）

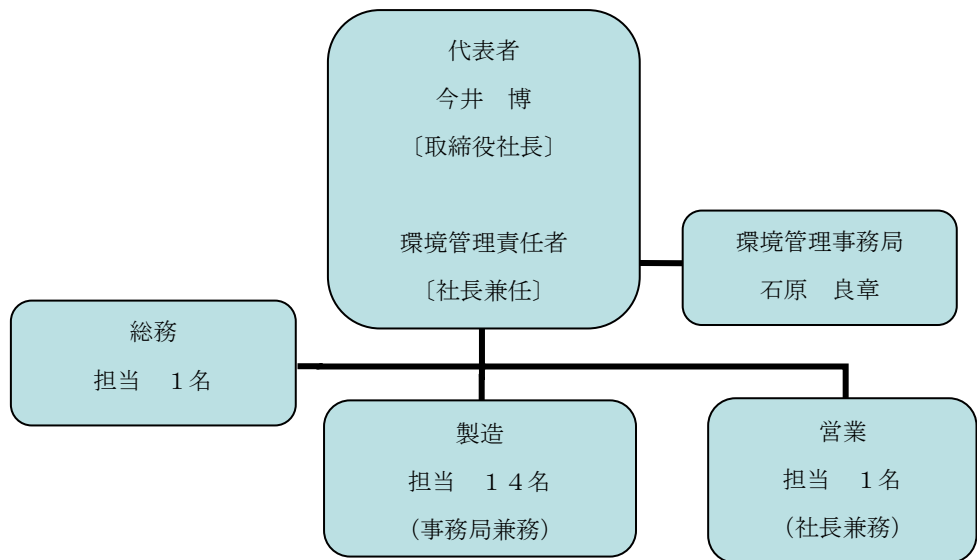
対象組織 全社（全工場）

対象活動 事業活動と同じ

レポート対象期間 ２０２４年１月～同年１２月

レポート発行日 ２０２５年２月１０日

【実施体制】



役割・責任・権限 (注) EA21 活動は全工場・全部門を対象として取り組む

役割	担当者	責任・権限
代表者	今井 博	環境管理責任者任命・資源用意 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	今井 博(兼務)	EA21 総責任者・EA21 構築運用 環境経営方針・経営目標立案 維持の総括・システム適合性 運用状況監視・システム見直し 法令順守事項総括、化学物質管理者
環境管理事務局	石原 良章	全体計画立案・文章作成管理 EMS 事務管理・EA21 運用実施 実施状況確認・記録 法令順守事項の改定把握/適合性監視
部門長	各工場管理者	活動の推進・提案/推進状況のフォロー 問題点の発見・是正・予防の実施 法令順守/従業員の順守確認
全従業員		自主的・積極的に環境活動実施/法令順守

□環境経営目標

有限会社今井工業所は自動車部品の加工における事業活動からの環境負荷の合計として、2022年度（2022年1月～12月）実績を基準とした環境負荷を年度基準として以下に環境負荷の削減目標を示します。

環境負荷	2022 年度	2023 年度 削減目標（0.1%）	2024 年度 削減目標（0.2%）	2025 年度 削減目標（0.3%）
【二酸化炭素排出量の削減】：Kg-co2	42317	42274	42232	42190
電力使用量の削減：kwh	98329	98230	98132	98034
燃料使用量の削減：ℓ	1765.24	1763.47	1761.70	1759.94
LPG 使用量の削減：Kg	19.665	19.645	19.625	19.606
産業廃棄物排出量の削減：t	2.740	2.737	2.734	2.731
水使用量の削減：m ³	180.00	179.82	179.64	179.46
環境配慮・苦情0化	発生なし	コミュニケーション 及び清掃活動実施	コミュニケーション 及び清掃活動実施	コミュニケーション 及び清掃活動実施
化学物質使用量の削減	適切管理	維持管理	維持管理	維持管理
一般廃棄物	発生なし	削減活動	削減活動	削減活動
工程内不良率	0.1%未満	0.1%未満	0.1%未満	0.1%未満
不良発生原因の 追究と対策	不良発生時の追究 及び対策実施	不良発生時の追究 及び対策実施	不良発生時の追究 及び対策実施	不良発生時の追究 及び対策実施
取り巻く環境変化の情報収集 及び新たなビジネスの展望	情報収集及び新たな ビジネスの模索	情報収集及び新たな ビジネスの模索	情報収集及び新たな ビジネスの模索	情報収集及び新たな ビジネスの模索
コスト削減/効率向上に よる負荷軽減	負荷模索/削減	負荷模索/削減	負荷模索/削減	負荷模索/削減

- (1)ISO9001 の品質活動により弊社内の不良率は 0.01%以下のため現状維持とする。
 (2)購入電力の二酸化炭素排出係数は中部電力ミライズの 2021 年度調整後の排出係数 0.388 Kg-co2 を使用する。

- (1) 二酸化炭素排出量は、電気使用量、化石燃料としてガソリン使用量、灯油使用量、軽油使用量及び LPG（プロパンガス）使用量の合計とし、年度比 0.1%削減し、2025 年度には基準年度比 0.3%削減を目標とします。
- (2) 廃棄物排出量は、産業廃棄物の排出量とします。
※一般廃棄物は極力発生しないように削減実施します。
- (3) 水使用量は上水使用量がそのまま下水道へ排出されるものとして、年度比 0.1%、2025 年度にて基準年度比 0.3%削減を目標とします。
- (4) 上記削減目標のほか、環境配慮や苦情に関して上記目標を推進します。
- (5) 化学物質に関して、削減方向に向けた維持・管理に努めます。
- (6) 工程内不良率を設定することにより、廃棄品を減少させて環境配慮に努めます。
- (7) 本業に関わる環境活動として、納入不良発生時に原因追究と対策を実施します。
- (8) 本業に関わる環境活動として、環境変化の情報収集及び新たなビジネスチャンスを模索します。
- (※) 本業に関わる環境活動として、時代(環境)の変化による運営悪化が想定される中、コスト削減/効率向上により負荷軽減を推進する。

ISO9001 で実施しているコスト削減及び効率向上も

エコアクション 21 に適用させる。

弊社 ISO9001 様式『戦略課題対応計画書』を引用する。

□環境活動計画

2024 年度経営目標	2024 年度取組内容 実施期間：2024 年 1 月～2024 年 12 月	担当部門
二酸化炭素排出量の削減	総排出量の削減	全部門
(電力使用量の削減：2022 年度比 0.2%削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・節電ステッカーの貼付 ・節電の実施（不要照明 OFF） ・エアコン温度管理の徹底 ・フィルター清掃 定期実施 ・製造設備不稼動時電源 OFF ・コンプレッサーエアー漏れチェック 	全部門
(燃料使用量の削減：2022 年度比 0.2%削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの実施 ・アイドリングストップ実施 ・車両の点検整備 ・低燃費車の採用 	全部門
(LPG 使用量削減：2022 年度比 0.2%削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用後元栓ごと消す 	全部門
廃棄物排出量の削減：2022 年度比 0.2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別の徹底 ・表示類の貼付 	全部門
水使用量の削減：2022 年度比 0.2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水ステッカー貼付 ・手洗い節水の徹底 	全部門
環境配慮・貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・会社周辺の清掃活動 月 1 回 ・会社周辺のゴミ拾い 週 2 回 	全部門
化学物質の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・削減に向けた適正管理・把握の実施 	全部門
一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・適正管理実施 	全部門
工程内不良率	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001 から引用/比較 	全部門
不良発生原因の追究と対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001 から引用/比較 	全部門
取り巻く環境変化の情報収集及び新たなビジネスの展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001 から引用/比較 	全部門
コスト削減/効率向上による負荷軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001 から引用/比較 	全部門
環境管理責任者確認実施		代表取締役

□環境経営目標の実績

環境への取り組みの実績期間は 2024 年 1 月から 2024 年 12 月の 1 年間として、2022 年度との達成状況を次に比較しました。なお、目標は加工高比較値を加味し、達成度にて評価しました。
※1 評価は目標値を達成した場合は○、未達成の場合は×と表示しています。

環境負荷	2022 年度 (年間基準値)	2024 年度 目標	2024 年度 実績	達成度 (%)	評価 ○・×
二酸化炭素排出量の削減 (kg-Co2)	42317	42232 (40374)	27586	146.4%	○
電気使用量の削減 (kwh)	98329	98132 (93814)	62237	150.7%	○
燃料使用量の削減 (ℓ)	1765.24	1761.70 (1684.19)	1453.74	115.9%	○
LPG 使用量の削減 (kg)	19.665	19.625 (18.762)	18.216	103%	○
産業廃棄物排出量の削減 (t)	2.740	2.734 (2.614)	2.760	94.7%	×
水使用量の削減 (m³)	180.00	179.64 (171.74)	150.00	114.5%	○
環境配慮 (苦情 0 継続)	コミュニケーション及び清掃活動実施	コミュニケーション及び清掃活動実施	コミュニケーション及び清掃活動実施済み	コミュニケーション及び清掃活動実施済み	○
化学物質の取扱い	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理実施	○
一般廃棄物	削減活動	削減活動	廃棄物なし	廃棄物なし	○
工程内不良率	0.1%未満	0.1%未満	0.1%未満	0.1%未満	○
不良発生原因の追究と対策	—	不良発生時の追究及び対策実施	不良発生追究	不良発生追究	○
取り巻く環境変化の情報収集及び新たなビジネスの展望	—	情報収集及び新たなビジネス模索	情報収集及び新製品の検討/実施	情報収集及び新製品の検討/実施	○
コスト削減/効率向上による負荷軽減	—	負荷模索/削減	負荷削減実施	負荷削減実施	○

(1)地域貢献活動：環境美化活動として会社周辺の概ね月 1 回の清掃活動を実施及び週 2 回の管理清掃の実施

(2)加工高修正値＝目標×加工高比較値(95.6%の為、×0.956) 達成度(%)＝目標/実績×100

※加工高修正値とは上記 2024 年目標の()内数値とする

□環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の目標と取組内容

① 取組結果

【ベースである加工高が 2022 年度比 95.6%となり、修正後の
二酸化炭素排出量の目標は達成している】

〔取組評価〕

今年度も、社員の環境負荷削減に対する理解も深まり

二酸化炭素排出量による環境保全の目標値は達成できた。

電気使用量に関しては、昨年同様、ロボット化や集塵機使用減等の
消費量の低下が取り組み結果に繋がったと判断します。

燃料使用量は昨年同様、リモート会議の定着が反映されている。

LPG 使用量・水使用量は、年度推進事項が定着し

取り組み結果に繋がったと判断します。

廃棄物排出量は、得意先非稼働や新製品立上げ遅れにより

社内清掃(仕分け・処分)の活動が増えた事が原因と判断します。

地域貢献に関しても、社内の推進意識の向上及び従業員の認識力が
向上しており、苦情もない事から良い活動が行えたと判断します。

本業に関わる環境活動についても、対応に問題はなしと判断する。

※本業に関わる環境活動 = 同期先 ISO9001 の結果を参照

※廃棄物排出に関して、金属くずはアルミ成分多量のため中間処理業者にてリサイクルしている。

□次年度の環境経営目標

有限会社今井工業所は自動車部品の加工における事業活動からの環境負荷の合計として、2022 年度（R4 年 1 月～12 月）実績を基準とした環境負荷を年度基準として以下に環境負荷の削減目標を示します。

環境負荷	2022 年度	2023 年度 削減目標	2024 年度 削減目標	2025 年度 削減目標
【二酸化炭素排出量の削減】：Kg-co2 ※電力排出係数変更値	2022 年度実績値	—	—	0.3%削減
電力使用量の削減：kwh	2022 年度実績値	—	—	0.3%削減
燃料使用量の削減：ℓ	2022 年度実績値	—	—	0.3%削減
LPG 使用量の削減：Kg	2022 年度実績値	—	—	0.3%削減
産業廃棄物排出量の削減：t	2022 年度実績値	—	—	0.3%削減
水使用量の削減：m ³	2022 年度実績値	—	—	0.3%削減
環境配慮・苦情 0 化	発生なし	—	—	コミュニケーション 及び清掃活動実施
化学物質使用量の削減	適切管理	—	—	維持管理
一般廃棄物	発生なし	—	—	削減活動
工程内不良率	0.1%未満	—	—	0.1%未満
コスト削減/効率向上による負荷軽減	負荷模索/削減	—	—	負荷模索/削減
不良発生原因の追究と対策	不良発生時の追究と対策実施	—	—	不良発生時の追究と対策実施
取り巻く環境変化の情報収集及び新たなビジネスの展望	情報収集及び新たなビジネスの模索	—	—	情報収集及び新たなビジネスの模索

(1)ISO9001 の品質活動により弊社内の不良率は 0.01%以下のため現状維持とする。

(2)購入電力の二酸化炭素排出係数は中部電力ミライズの 2021 年度調整後の排出係数 0.388 Kg-co2 を使用する。

② 次年度の取組内容

(1) 電気使用量

2025 年度も削減内容をそのままに継続的な意識向上と削減を実施します。

(2) 燃料使用量

前年度同様、業務用車両の急発進・急加速・急ブレーキをしないようにする等継続的なエコドライブの徹底を実施します。

(3) 産業廃棄物排出量

2025 年度は削減内容をそのままに継続的な意識向上と削減を実施します。

※社内の一般ゴミは各自のゴミを全て持ち帰ることにより発生の最小化を実施。

(4) 水使用量

2025 年度も継続して節水の意識を高めて使用量の削減を実施します。

(5) LPG 使用量

2025 年度も継続して LPG 削減の意識を高めて使用量の削減を実施します。

(6) 化学物質取扱い

弊社で使用している化学物質の使用量、使用方法を管理し、薬品メーカー等より定期的に法令改定の情報や削減及び代替等の情報も収集して取扱いに対する意識を徹底していこうと思います。

(7) 本業に関わる環境活動

2025 年度も、『取り巻く環境変化の情報収集及び新たなビジネスの展望』

『不良発生原因の追究と対策』『コスト削減/効率向上による負荷軽減』を推進し、継続して実施していく。

※次年度の実施体制は 2022 年度と変更なしとする

□環境関連法規等の遵守状況の確認

評価結果と違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規を下記へまとめ、遵守状況を確認、評価しました。

確認評価の結果は環境に関する違反などの指摘はありませんでした。
尚、今年度も苦情、訴訟などはありませんでした。

適用法	法規制内容	評価
廃棄物処理法	収集運搬・処分までの保管・管理	○
	産業廃棄物管理表交付等状況報告書の届出	
	産業廃棄物の保管基準	
	収集運搬・処分に係る委託基準の遵守	
	委託先の実地確認（優良認定業者はネット確認）	
	マニフェスト制度の遵守	
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質管理者の選任 ・リスクアセスメント実施 	○
PRTR 法	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員 21 人以上 ・第一種指定化学物質の年間取扱量： 500kg/年以上は届出を行う。 	今年度非該当
騒音・振動規制法	愛知県公害防止条例の規制基準 <ul style="list-style-type: none"> ・騒音及び振動の測定・記録 	○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・少量危険物取扱い ・消火器の設置 	○
フロン排出抑制法	目視等による簡易点検・処分方法	○
下水道法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設なし 水質基準の遵守 	○
県民の生活環境保全等 に関する条例	アイドリングストップの励行 悪臭の規制基準の把握及び実施	○

※環境関連法規確認は 2024 年 12 月 13 日に確認した。

□代表者による全体評価と見直し結果

2025 年 2 月 10 日
代表取締役社長 今井 博

1.変更の必要性

環境方針	<input checked="" type="radio"/> 不要	・ 要
環境目標	<input checked="" type="radio"/> 不要	・ 要
活動計画	<input checked="" type="radio"/> 不要	・ 要
環境経営システム(実施体制含む)	<input checked="" type="radio"/> 不要	・ 要

『変更の理由』

変更不要の為、記載なし

2.改善のための方策、結論、勧告等 環境管理責任者への指示事項

本年度もエコアクション 21 と ISO9001 の両面から『環境』活動の目標達成を目指し、実施致しました。

上記、環境活動の定着により、従業員からの積極的な推進も増し社内全体の意識も向上していると判断致します。

能登地震や南海トラフ特別注意警報が発生した1年でもあり緊急事態時の対応を更に深めていくとともに、社内ルールを確保し、より良い運営環境を目指して、次年度も環境活動を推進していきたいと思ひます。